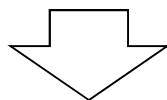


中堅教諭等資質向上研修（幼保連携型認定こども園保育教諭）概要

各市町村教育職員 人材育成基本方針における育成指標「充実・円熟期」

教育職員として様々な教育実践を重ねることで教科等の専門的知識及び技能を高めるとともに、主任やミドルリーダーとしての自覚をもって学校経営に積極的に参画していきける資質能力を高めていく期とする。

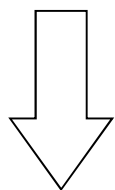


教職経験年数に応じた研修の一環として1年間の研修を実施

【目的】

- ・保育教諭としての専門的知識及び技能を高める
- ・主任や中堅保育教諭としての自覚をもって、園運営等の重要な役割や若手教諭への指導的役割を果たす上で必要な資質能力を高める

計画等（4、5月）



- ・自己評価
- ・計画書の作成・提出

研修内容（4月～2月）



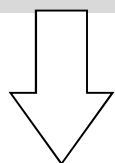
OJT研修

- ・保育等の研修 [通年]
 - 保育研究 [3回]
 - 課題研究 [2回]
- ・メンタルヘルス [1回]
- ・園内研修の企画運営 [1回]

Off-JT研修

- ・教育センター研修 [3.5日]
 - 集合型研修 (1日)
 - オンライン研修 (2日)
 - オンデマンド研修 (0.5日)
- ・異校種体験研修 [2日]
- ・園外必修研修 [2日]

報告（2月）



報告書等の作成・提出

次年度の取組

中堅教諭等資質向上研修（幼保連携型認定こども園保育教諭）実施要項

1 目 的

教育公務員特例法第24条及び同法附則第6条の規定に基づき、個々の能力や適性等に応じて、幼保連携型認定こども園保育教諭としての専門的知識及び技能を高めるとともに、中堅教諭としての自覚をもち園運営等において、中核的な役割を果たす上で必要な資質能力の向上を図る。

2 研修の対象者について

- (1) 公立の幼保連携型認定こども園の保育教諭のうち、令和5年度末に、研修上の教職経験年数（以下、「経験年数」という。）が10年以上（保育士としての在職経験があり、新規採用幼稚園教諭研修を受講した者については、その在職年数を含む）の者で、中堅教諭等資質向上研修をまだ受講していない者を該当者とし、そのうち、令和6年度に研修を受講する者を対象者とする。（研修年度については、本人の希望や園等の実情等を踏まえ、経験年数11年目から13年目の3年間のいずれかの年度で1年間受講するものとする。保育士としての在職経験があり、新規採用保育教諭研修を受講した者の研修年度については、この限りではない。）
- (2) 経験年数の計算にあたっては、以下の点に留意すること。
 - ア 国立、公立又は私立の幼稚園教諭又は幼保連携型認定こども園保育教諭として在職した期間（臨時的に任用された期間を除く。）を通算した年数とする。県外での経験年数も含む。
 - イ 指導主事、社会教育主事その他教育委員会において学校教育又は社会教育に関する事務に従事した期間がある場合、その期間は、当該経験年数とする。
 - ウ 在職期間のうち下記に掲げる期間が引き続き1年以上ある場合は、その期間の年数（1年未満の端数があるときは、これを切り捨てた年数）を当該経験年数から除算する。
 - (ア) 地方公務員法の規定による休職又は停職により現実に職務を執ることを要しない期間
 - (イ) 地方公務員法の規定により職員団体の役員として専ら従事した期間
 - (ウ) 地方公務員の育児休業等に関する規定により育児休業をした期間（産前産後休暇の期間は含まない。）
 - (エ) 市町村立学校の教職員の給与等に関する条例の規定による介護休暇により現実に職務を執ることを要しない期間
 - (オ) 私立の幼稚園教諭又は幼保連携型認定こども園保育教諭として在職した期間について、
 - (ア) (ウ) 又は (エ) に規定する期間に準ずるものとして任命権者が認める期間
 - (カ) 保育所の保育士として在職した期間
 - (キ) その他、自己啓発等休業の取得等の経験年数から除算すべき期間として県健康福祉部子ども・子育て支援課（以下「県子ども・子育て支援課」という。）が定める期間
- (3) 当該年度に、以下に所属している該当者等は、研修を免除する。
 - ア 行政機関
 - イ 他の任命権者が実施する中堅教諭等資質向上研修（10年経験者研修）を修了した者
 - ウ その他、市町村担当課が実施する必要がないと認める者

3 園内の指導体制

園長は、園全体としての協力体制を確立し、適宜適切な指導及び助言を行うこと。又、対象者が本研修を実施するにあたり、園務分掌の軽減等について配慮すること。

4 研修内容

- (1) OJT研修
（日常の教育活動を通して、職務に必要な資質・能力を計画的・重点的に身に付ける研修）
（保育等の研修5回、メンタルヘルス1回、園内研修の企画運営1回）
研修実施にあたり、教育センター研修等、園外における研修との有機的な関連を考慮しつつ実施するよう配慮すること。
 - ア 保育等の研修（通年）
 - (ア) 保育研究（2回）
[ねらい]

自ら計画・実践・評価・改善を行い、継続的に保育等の指導力の向上を図る。

[研修の方法]

- ・保育の在り方、環境の構成等に重点をおき、対象者が公開保育を2回行うこと。
- ・保育研究の内容や方法については、対象者の指導改善につなげることができるように工夫する。
- ・「保育指導案の検討」「保育研究」「保育後の研究協議等」をもって1回とする。
- ・指導案の作成にあたっては、管理職を含む複数の教員で協議すること。

(イ) 課題研究 (3回)

[ねらい]

保育実践上の諸課題に向けて研究を行い、課題解決力や実践力の向上を図る。

[研修の方法]

- ・指導方法や教材に関して自らの課題意識に基づく研究テーマを設定すること。
- ・課題研究の取組状況と研究結果を所属園の教職員の前で発表すること。「研修計画の作成」「研究中間発表」「研究成果発表」をもって3回とする。
- ・教育センター研修においても、「研究中間発表」「研究成果発表」を行う。

イ メンタルヘルス (1回)

[ねらい]

心身の健康の保持増進を図るために、ストレスに対処する考え方や行動を身に付ける。

[研修方法]

2月中旬までに、管理職等による研修を受講する。又は、島根県、県教育委員会、市町村及び市町村教育委員会が主催又は後援する研修に参加することで代えてもよい。

ウ 園内研修の企画運営 (1回)

[ねらい]

幼稚園運営等における中核的な役割を果たすために、専門的知識及び技能を高め、企画力や調整力を身に付ける。

[内容及び方法]

園内研修の実施において、事前準備及び当日の運営等の中心的役割を担うこと。なお、具体的な内容については、以下の例を参考にし、事前事後に管理職や主任等から指導を受けること。

研修内容 (例)	事前準備 (例)	当日の運営等 (例)
・接続カリキュラムについて ・子どもの見取りと援助 ・人権同和教育 ・ハラスメント	・実施計画作成と起案 ・担当分掌での役割分担と打ち合わせ ・講義又は演習資料の準備	・講義 ・演習説明と運営 ・Off-JT 研修内容の伝達 ・振り返り

(2) Off-JT研修 (日常の職務を離れて、職務に必要な資質・能力を計画的・重点的に身に付ける研修)

ア 教育センター研修 (3.5日)

[ねらい]

- (ア) 幼保連携型認定こども園保育教諭としての専門的知識及び技能を高める。
- (イ) 園運営等の円滑かつ効果的な実施において、中核的な役割を果たす上で必要な資質能力の育成を図る。
- (ウ) 対象者同士の協議を通して互いに学び、実践的意欲や態度を養う。

[内容及び研修場所]

(ア) 集合研修 (1日) 教育センターが指定した会場

(イ) オンライン研修 (2日) 、 所属園又は園長が指定した場所

(ウ) オンデマンド研修 (0.5日) ・ ・ ・ ・ ・ 所属園又は園長が指定した場所

[研修項目別の目的と内容]

※島根県教育センター研修については、「中堅教諭等資質向上研修 (幼稚園教諭)」と合同開催とする。

※各回の研修実施要項は、実施日の3週間前に島根県幼児教育センターHPに公開する。

※オンデマンド研修では、全ての項目を視聴し、「幼小連携・接続オンデマンド動画」及びその他1つの項目について記入すること。オンデマンド研修レポート [様式4] にまとめPDFにして提出すること。

[研修期日及び会場、研修項目等]

回		期日	会場	研修項目等
第Ⅰ回	オンライン	5月17日 (金)	所属園又は 園長が指定した場所	<ul style="list-style-type: none"> ・開講式 ・オリエンテーション ・組織マネジメント ・幼稚園教育要領と島根県の幼児教育施策
第Ⅱ回	オンデマンド	6月～8月末	所属園又は 園長が指定した場所	<ul style="list-style-type: none"> ・幼小連携・接続オンデマンド研修 ・教職員の倫理と服務 ・竹島に関する学習 ・教育の情報化
第Ⅲ回	集合	8月8日 (木)	島根県教育センター	<ul style="list-style-type: none"> ・課題研究中間発表 ・保育指導案 ・生徒指導・教育相談
第Ⅳ回	オンライン	2月18日 (火)	所属園又は 園長が指定した場所	<ul style="list-style-type: none"> ・人権教育 ・特別支援教育 ・課題研究成果発表 ・研修の振り返り ・閉講式

[研修項目別の目的と内容]

回	研修項目	目的と内容
第 I 回	組織マネジメント	カリキュラム・マネジメントについて理解を深めるとともに、組織マネジメントの必要性や中堅幼稚園教諭としての役割について理解し、幼稚園運営等に積極的に関わろうとする意欲をもつ。 (ア) 幼稚園教育におけるカリキュラム・マネジメント (イ) 組織マネジメントの必要性 (ウ) 中堅幼稚園教諭としての役割
	幼稚園教育要領と島根県の幼児教育施策	幼稚園教育要領改訂の背景と目指す方向性を学び、新しい時代に必要となる資質・能力の育成と評価の充実について理解する。 (ア) 育成すべき資質・能力の三つの柱とその評価 (イ) 社会に開かれた教育課程 (ウ) 島根県の幼児教育の現状と幼児教育施策
	オリエンテーション	中堅教諭等資質向上研修の内容等を理解し、研修の見通しをもつ。 (ア) OJT 研修と O f f - J T 研修の進め方 (イ) 計画と振り返り
第 II 回	幼小連携・接続オンデマンド研修	幼児教育と小学校教育の円滑な接続について理解を深め、実践に生かす。
	教職員の倫理とサービス	教職員として、高い倫理観と教職に対する情熱・意欲や使命感、責任感をもつ。 (ア) 教育法規等についての理解 (イ) 事例から学ぶ
	竹島に関する学習	竹島問題について、歴史的事実や国際法上の根拠等についての理解を深め、竹島に関する学習を一層充実させるための指導力を高める。 (ア) 島根の指導者に求められること (イ) 竹島問題についての正しい理解 (ウ) 「竹島に関する学習」のこれから
	教育の情報化	学習の基盤となる資質・能力の一つである「情報活用能力」の育成や「教育情報セキュリティ」について理解するとともに、教職員に求められる ICT 活用指導力等の向上を目指す。 (ア) 情報活用能力の育成 (情報モラルを含む) (イ) 教育情報セキュリティ
第 III 回	課題研究中間発表	各自の課題研究への取組の実際を伝え合うとともに、2 学期以降の実践に向けて見通しをもつ。
	保育指導案	それぞれの園の保育指導案の良さや工夫した事柄を出し合い、「保育指導案作成で大切にしたいこと」を考えることで、保育への理解と実践力を高め、他の教職員への指導力を身に付ける。
	生徒指導・教育相談	児童生徒等や保護者等を適切に支援し、様々なケースに対応していく力量を高める。 (ア) 児童生徒等や保護者への支援 (イ) 状況に応じた連携支援
第 IV 回	人権教育	中堅幼稚園教諭として、誰もが安心して学びに向かえる学校づくりを推進するためのコーディネートをする力を身に付ける。 (ア) 島根が目指す人権教育の理念に基づく組織的な取組の推進 (イ) 人権が尊重される環境・集団づくり
	特別支援教育	共生社会の形成に向けたインクルーシブ教育システム構築のための特別支援教育の推進について理解を深め、園内での特別支援教育の推進を図るための実践力を高める。 (ア) 園内における特別支援教育の推進
	課題研究成果発表	課題研究成果発表会等を通して 1 年間の研修を振り返り、研修の成果を確かめるとともに、次年度の保育実践について展望をもつ。
	研修の振り返り	個々の能力や適性に応じて、幼稚園教諭としての専門的知識及び技能を高めるとともに、中堅幼稚園教諭としての自覚をもち、幼稚園運営等において中核的な役割を果たす上で必要な資質能力の向上を図るという研修の目的を振り返り、次年度以降の取組への展望と意欲をもつ。 (ア) 1 年間の振り返り

イ 異校種体験研修（2日）

[ねらい]

異校種の授業への体験的参加（授業参観、協議、ティーム・ティーチング等）などを通して、系統性や発達の段階を踏まえた保育の在り方や異校種間の連携について理解し、自らの教育実践を振り返るとともに指導力の向上を図る。

[研修日数、内容]

園長及び対象者は、研修先を選定し、受け入れ先と協議して、研修依頼書（参考様式）を研修先の所属長に提出する。2月中旬までに2日実施すること。内容は、参観だけでなく、児童生徒等に関わる体験的なものを含める。

[研修先の範囲]

所属園が所在する市町村又は近隣の小学校、義務教育学校前期課程及び特別支援学校小学部とする。2日とも同一の学校において研修を行うこと。なお、自身の所属園と研修先の所属長が同一の場合は、研修先として認めない。

ウ 園外必修研修（2日）

[ねらい]

幼稚園教育における課題に応じた内容の研修を受講し、幼稚園教育への理解を深め、資質能力の向上を図る。

[選択方法等]

年度当初に下記の研修の申込みを行うこと。

- ・全員「幼児教育推進研修」を受講すること。
- ・「幼小連携・接続研修」または「保育教諭・幼稚園教諭・保育士合同研修」のいずれか1つを選択して受講すること。

[研修名と期日及び会場、研修項目等]

	研修名	期日	会場	研修項目等
必修	幼児教育推進研修	8月23日(金)	くにびきメッセ	・幼稚園教育要領に基づいた保育実践についての講義・協議
どちらか1つを選択	幼小連携・接続研修 ※	※	※	・幼児教育と小学校教育の円滑な接続に関する講義・演習
	保育教諭・幼稚園教諭 ・保育士合同研修	10月25(金)	オンライン	未定

※「幼小連携・接続研修」を選択する場合は、所属園が所在する市町村が主催する「幼小連携・接続研修」を受講すること。

5 研修計画

(1) 自己評価

- ・対象者は、5つの「育成指標における資質能力」について、資質能力自己評価表（様式1）を基にこれまでの実践等を振り返り、計画書（様式2）に自己の優れている点及び課題を記入すること。次に、5つのうち「重点とする資質能力」を2つ選び、今年度伸ばしたい点について記入すること。
- ・園長は、対象者と面談を行い、対象者の資質能力や課題、得意分野、研修内容の希望等について聴取し、今年度の育成方針について記入する。

(2) 研修計画

- ・対象者は、管理職と相談しながら研修計画を立て、計画書 [様式2] に必要事項を記入すること。

6 研修報告

(1) 自己評価

- ・対象者は、5つの「育成指標における資質能力」について、資質能力自己評価表を基に1年間の研修の取組について振り返ること。
- ・対象者は計画時に選んだ「重点とする資質能力」の2つについて、取組に対する成果について報告書 [様式3] に記入すること。

(2) 研修報告書の作成

- ・対象者は、管理職等から受けた指導・助言をもとに、報告書 [様式3] を作成し、園長に提出すること。

7 計画書・報告書等の提出先、提出方法及び締切日

提出順	様式	提出文書	提出部数	提出先	締切日
1	様式2	計画書 (紙媒体)	4	市町村担当課	5月30日 (木)
2	様式5	課題研究レポート 中間発表用 (PDF) ※1	電子データ	島根県教育センター ※2	7月25日 (木)
		保育指導案 (PDF) ※1			9月19日 (木)
3	様式4	オンデマンド研修レポート (PDF) ※1			令和7年2月6日 (木)
4	様式6	課題研究レポート 成果発表用 (PDF) ※1			令和7年2月25日 (火)
5	様式6	課題研究レポート 最終報告用 (PDF) ※1			4
	様式3	報告書 (紙媒体)		市町村担当課	
	様式6	課題研究レポート 最終報告用 (紙媒体)		市町村担当課	
		保育指導案 (1回分) (紙媒体)			
	様式7	園内研修の企画運営 報告書 (紙媒体)		市町村担当課	

※上記の一覧表を参照し、園長の指導、決裁を受け、期限内に提出すること。

※1 電子データで提出するものは、PDFに変換して提出すること。

課題研究レポート (最終報告用) は、紙媒体と電子データの両方で提出すること。

※2 電子データの提出先である島根県教育センターのメールアドレスは、第1回教育センター研修で示す。

8 その他

研修の成果は、職員へ還元し、より多くの職員の資質能力の向上と学校の活性化につながるように努めること。さらに、園内研修はもとより、県内の各種研修会等で積極的に発表することが望ましい。

9 留意事項

- (1) 島根県教育センターが実施する研修への出席が困難な事態が生じた場合は、管理職を通して県子ども・子育て支援課に連絡すること。その後、協議により欠席等が認められた場合は、速やかに欠席届（様式第1号）を1部提出すること。
- (2) 対象者に研修の継続が不可能な事態が生じた場合は、園長は、市町村担当課へ報告し、市町村担当課は、県子ども・子育て支援課へ報告し、協議すること。

10 問い合わせ先

〒690-8501 松江市殿町1

島根県健康福祉部子ども・子育て支援課保育支援係 研修担当

TEL : 0852-22-6254 FAX : 0852-22-6124

MAIL : hoiku@pref.shimane.lg.jp

中堅教諭等資質向上研修 (保育教諭)

様式集

中堅教諭等資質向上研修 資質能力自己評価表

園名[] 氏名[]

【評価】 4:よく当てはまる 3:当てはまる 2:あまり当てはまらない 1:当てはまらない ○で囲む

資質能力		評価項目	研修前評価	研修後評価
1 豊かな人間性と職務に対する使命感	人間理解・人権意識	職員の姿が子どもに影響を及ぼすことを理解し、子どもが一人の人間として大切にされていると実感できる環境づくりを心掛けている。	4 3 2 1	4 3 2 1
		あらゆる他者を価値ある存在として尊重し、多様な価値観を尊重する態度や幅広い視野・知識を身に付けている。	4 3 2 1	4 3 2 1
	職務に対する誇りと責任	高い倫理観と教職に対する使命感、責任感を持ち、教育職員として生涯を通じて学び続け、子ども一人一人の主體的な学びを支援する伴走者としての役割を果たしている。	4 3 2 1	4 3 2 1
		危機管理意識を高め、教育活動における事故・災害等に対して備えたり、事前指導、対応、事後指導を行ったりできるようにしている。	4 3 2 1	4 3 2 1
ふるさとを愛する心	ふるさとを愛し、県や園の所在する地域の特長を理解するとともに、「ふるさと教育」を積極的に行っている。	4 3 2 1	4 3 2 1	
2 子どもの発達への支援に対する理解と対応	生徒指導の推進	子どもとの信頼関係づくりを努めるとともに、子ども相互の好ましい人間関係を構築する視点で個に応じた指導や集団指導を積極的に行っている。	4 3 2 1	4 3 2 1
		園の特色や地域の実情を踏まえつつ、日常的な教育活動を通じて、子どもたちが社会的自立に向けた資質・能力を身に付けられる取組を積極的に行っている。	4 3 2 1	4 3 2 1
		子どもが、学ぶことと社会とのつながりを意識し、自分らしい生き方を実現するための支援を組織的に行っている。	4 3 2 1	4 3 2 1
	特別支援教育の推進	子どもが主體的に学ぶことのできる保育実践に向け、関係機関等の助言や援助も活用しながら、一人一人の教育的ニーズの把握に努めている。	4 3 2 1	4 3 2 1
園内の教職員間で共通理解を図り、園内の支援体制を構築しながら、すべての子どもの学びが保障されるための環境づくりや保育実践に努めている。		4 3 2 1	4 3 2 1	
3 専門的知識・技能及び態度	教科等の指導に関する専門性	「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を念頭に置き、小学校等との接続を意識して発達の各時期にふさわしい生活が展開されるように指導計画を作成し、実践している。	4 3 2 1	4 3 2 1
		子どもの主體的な活動を引き出せるよう、教材を工夫したり、その教材や友達との出会いを工夫したりするなどより望ましい環境の構成に努めている。	4 3 2 1	4 3 2 1
		遊びや生活の見通しをもったり、振り返ったりする場面を大切に、次の活動への期待や意欲をもつことができるようにしている。	4 3 2 1	4 3 2 1
		園内研修等を通して、指導の過程を振り返りながら子どもの理解を進め、子ども一人一人のよさや可能性などを把握し、指導の改善に生かすようにしている。	4 3 2 1	4 3 2 1
	ICTや情報の利活用	ICT を活用し、子どもの情報活用能力育成のための計画立案や実践に努めている。	4 3 2 1	4 3 2 1
		校務の効率化及び子どもの学習や生活の改善を図るため、教育データを適切に活用している。	4 3 2 1	4 3 2 1
社会の変化への対応	新たな教育課題等に対応した教育（「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を念頭に置いた小学校等との接続を意識した保育改善、いじめ・不登校等への対応、特別支援教育の充実、ICT の活用等）の推進に向けて園内で協働して取り組む体制を整え、実践に努めている。	4 3 2 1	4 3 2 1	
4 学校組織の一員としての考え行動する意欲・能力	学校組織マネジメント	園教育目標や経営方針に基づき、自らが担当する校務分掌に関する計画及び学級経営案を立て、その実現を図るとともに、適宜評価を行い改善に努めている。	4 3 2 1	4 3 2 1
		組織の一員としての役割を理解し、教師は創造的で魅力ある仕事であることの認識と誇りをもって働いているとともに、働き方改革の実現に向けて積極的に取り組んでいる。	4 3 2 1	4 3 2 1
	他者との連携・協働	同僚等から学ぶ姿勢をもつとともに、連携・協働して自園の課題解決を図っている。	4 3 2 1	4 3 2 1
		園内研修や保育研究をはじめとする園における様々な機会や場面において、後進に助言を与えるなどして、園内の人材育成に前向きに取り組んでいる。	4 3 2 1	4 3 2 1
5 よりよい社会をつくるための意欲・能力	地域資源の活用と地域貢献	園外の教育資源を教育課程の内容と効果的に組み合わせ、地域住民等と連携・協働して教育活動に取り組んでいる。	4 3 2 1	4 3 2 1
		魅力ある園づくりが、魅力ある地域づくりにつながることを理解し、それを地域と共有し、互いに活性化するようにしている。	4 3 2 1	4 3 2 1
	合意形成に向けた議論の調整・促進	魅力ある園づくり(園教育目標の実現)を目指して職員が議論をしたり、協働したりするように働きかけている。	4 3 2 1	4 3 2 1
		子どもが集団や自己の生活、人間関係等の課題を解決するために、話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりできるような場面を意図的に設定している。	4 3 2 1	4 3 2 1

様式 2 (保育教諭)

〇〇〇 第 〇〇 号
令和 6 年 月 日

島根県健康福祉部子ども・子育て支援課長 様

〇〇市立〇〇〇園
園長 〇〇〇〇

令和 6 年度 中堅教諭等資質向上研修 計画書

1 対象者

氏名		研修用個人番号(3桁)※	
担任等の校務分掌			

※ 第 I 回教育センター研修で配付した名簿の氏名の前に記載されている 3 桁の番号

2 事前自己評価

育成指標における資質能力	優れている点及び課題
1 豊かな人間性と職務に対する使命感	
2 子どもの発達の支援に対する理解と対応	
3 職務にかかわる専門的知識・技能及び態度	
4 学校組織の一員として考え行動する意欲・能力	
5 よりよい社会をつくるための意欲・能力	
重点とする資質能力	今年度伸ばしたい点
(上記より一つ選び番号を記入する)	
(上記より一つ選び番号を記入する)	

※記入にあたっては、「中堅教諭等資質向上研修（幼保連携型認定こども園保育教諭）実施要項」を参照すること。

3 研修計画

(1) O J T研修

園内における研修	実施予定日	研修内容等	園内外の指導助言者
保育研究	月 日	保育指導案の検討	
	月 日	研究保育と研究協議	
	月 日	保育指導案の検討	
	月 日	研究保育と研究協議	
課題研究	月 日	研究構想、計画の発表	
	月 日	研究中間発表	
	月 日	研究成果発表	
メンタルヘルス	月 日		
園内研修の企画運営	月 日		

(2) O f f - J T研修

異校種体験研修（2日）

実施予定日	研修先	研修内容
月 日		
月 日		

園外必修研修（2日）

実施予定日	研修名	研修内容
月 日		
月 日		

記入例

島根県健康福祉部子ども・子育て支援課長 様

〇〇市立〇〇〇園
園長 〇〇〇〇

令和 6 年度 中堅教諭等資質向上研修 計画書

公印は不要

1 対象者

氏 名	島 根 よし江
担任等の校務分掌	〇〇組担任、〇〇部

2 事前評価

	育成指標における資質能力	優れている点及び課題
自己評価	1 豊かな人間性と職務に対する使命感	自主的に研修会に参加し、幼稚園教諭の専門性の向上に努めたり・・・
	2 子どもの発達の支援に対する理解と対応	支援を必要とする園児への対応において、関係機関との連携に課題がみられ・・・
	3 職務にかかわる専門的知識・技能及び態度	子どもの主体的な活動を引き出すよう環境の構成を工夫しているが、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を・・・
	4 学校組織の一員として考え行動する意欲・能力	担当分掌の役割を理解し、園内の職員と協力して行事の準備を進めている。園の課題に対する改善策など、職員会議
	5 よりよい社会をつくるための意欲・能力	地域の行事などに積極的に参加し・・・
	重点とする資質能力	今年度伸ばしたい点
	1・2・③・4・5 (一つ選び○で囲む)	「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を踏まえて、保育計画を作成し、実践していく。具体的には・・・
	1・2・3・④・5 (一つ選び○で囲む)	園の課題に、育成指標における資質能力のうちから2つ選び、何を伸ばしたいのかを具体的に記入する。その改善策に
園長所見	これまで・・・な姿も見られた。 今年度は・・・を任せ、・・・することを期待している。 また、・・・することで、・・・できる能力を育てたいと考える。	

自己評価表(様式1)をもとに優れている点と課題を簡潔に記入する。

園の課題に、育成指標における資質能力のうちから2つ選び、何を伸ばしたいのかを具体的に記入する。

これまでの対象者の様子を踏まえ、今年度の育成方針について記入する。

※記入にあたっては、「中堅教諭等資質向上研修(幼保連携型認定こども園保育教諭)実

3 研修計画

(1) O J T研修

園内における研修	実施予定日		園内外の指導助言者
保育研究	9月中旬	「〇月〇日」又は「〇月中旬」等を記入する。	研究主任、園内職員
	9月29日	研究保育と研究協議	〇〇市〇〇指導主事
	12月初旬	保育指導案審議	管理職、研究主任、職員
	12月15日	研究保育と研究協議	管理職、研究主任、職員
課題研究	5月27日	研究構想、計画	管理職、研究主任
	7月28日	研究中間発表	管理職、研究主任、職員
	2月上旬	研究成果発表	管理職、研究主任、職員
メンタルヘルス	8月6日	園外研修の場合は、主催者等を記入する。	〇〇市福利課
園内研修の企画運営	9月27日	講義・グループ協議	管理職

(2) O f f - J T研修

異校種体験研修（2日）		
実施予定日	研修先	研修内容
11月 4日 11月 5日	〇〇小学校	授業等参観及び児童観察 教材準備や授業構想協議
園外必修研修（2日）		
実施予定日	研修名	研修内容
8月 4日（木）	幼児教育推進研修	幼稚園教育要領に基づいた保育実践についての講義・協議
月 日（ ）		

様式3（保育教諭）

〇〇〇第〇〇号
令和7年 月 日

島根県健康福祉部子ども・子育て支援課長 様

〇〇市立〇〇〇園
園長 〇〇〇〇

令和6年度 中堅教諭等資質向上研修 報告書

1 対象者

職名		氏名		研修用 個人番号	
----	--	----	--	-------------	--

2 研修の実施状況

(1) O J T研修

研修の名称等		実施日	研修内容等	園内外の指導助言者等
保育等の 研修	保育研究 (2回)	月 日	保育指導案の検討	
		月 日	保育と研究協議	
		月 日	保育指導案の検討	
		月 日	保育と研究協議	
	課題研究 (3日)	月 日	研究構想、計画の発表	
		月 日	研究中間発表	
		月 日	研究成果発表	
メンタルヘルス	月 日	メンタルヘルス		
園内研修の 企画運営	月 日			

(2) O f f - J T研修

ア 異校種体験研修(2日)

実施日	研修先	研修内容
月 日		
月 日		

イ 園外必修研修(2日)

実施日	研修先	研修内容
8月23日	幼児教育推進研修	幼稚園教育要領に基づいた保育実践 についての講義・協議
月 日		

3 対象者の自己評価

育成指標における 資質能力	取組に対する成果	次年度以降の展望 (次年度以降に取り組みたいこと等)

4 添付物

- ① 課題研究レポート(最終報告用) [様式6]
- ② 保育指導案 (1回分)
- ③ 園内研修の企画運営 報告書 [様式7]

様式3 (保育教諭)

記入例

文 書 番 号
令 和 年 月 日

島根県健康福祉部子ども・子育て支援課長 様

〇〇市立〇〇〇園
園長 〇〇〇〇

公印は不要

令和6年度 中堅教諭等資質向上研修 報告書

1 対象者

職名		氏名	
----	--	----	--

2 研修の実施状況

(1) O J T 研修

保育指導案の検討、保育研究、保育後の研究協議等をもって、それぞれ1回分として記入する。

研修の名称等	実施日	研修内容等	指導助言者等	
保育等の研修	月 日	保育指導案審議	研究主任	
	月 日	保育と研究協議	研究主任、 指導主事、園内職員	
	月 日	保育指導案審議		
	月 日	保育と研究協議		
	課題研究 (3日)	月 日	研究構想、計画	外部講師が参加した場合は、外部講師についても記入する。
		月 日	研究中間発表	
		月 日	研究成果発表	
メンタルヘルス	月 日	メンタルヘルス	管理職	
園内研修の 企画運営	月 日	〇〇研修の伝達と演習	管理職	

(2) O f f - J T 研修

ア 教育センター研修 (3日)

出席日数	欠席した回	補充的研修のレポート提出
		〇回 (研修内容を含む)
		〇回 (研修内容を含む)

全出席の場合はこの欄は記入しない。

イ 異校種体験研修 (2日)

実施日	研修先	研修内容
月 日 月 日		主な研修内容を記入する。

ウ 園外必修研修(2日)

実施日	研修名	研修内容
8月4日(木)	幼児教育推進研修	幼稚園実践に 主な研修内容を記入する。
〇月〇日(〇)	〇〇〇〇〇研修	

3 対象者の自己評価

育成指標における 資質能力	ア 取組に対する成果	イ 次年度以降の展望 (次年度以降に取り組みたいこと等)
	資質能力自己評価表をもとに、研修の 成果と課題についてまとめる。	

4 園長評価(対象者の取組に対する成果及び今後期待すること)

「園長所見」は重点とする二つの資質能力を中心に、研修による成果をまとめるとともに、今後への期待について記入する。

5 添付物

- ① 「課題研究レポート」最終報告用(様式6)
- ② 保育指導案(1回分)
- ③ 「園内研修の企画運営」報告書(様式7)

様式は各園の様式でよい。

様式4（保育教諭）

令和6年度 中堅教諭等資質向上研修 オンデマンド研修レポート

園名（ ） 個人番号・氏名（ ・ ）

理解できた内容や意識の変容、実践にどう生かしていくかなどについてまとめる。

研修項目①（幼小接続・携続オンデマンド動画）

研修項目②（ ）

- ※ オンデマンド研修レポート [様式4] にまとめPDFにして提出すること。
- ※ A4判縦1ページ程度にまとめること。

園名 () 個人番号・氏名 (.)

研究主題

- 1 研究の動機

- 2 研究の目的

- 3 研究仮説

- 4 研究の方法

- 5 これまでの成果と今後の課題

※ A4判縦 資料添付可とする。ただし、教科書等の複製の掲載は不可とする。
※ 記載内容については著作権や個人情報、肖像権等に十分配慮すること。

様式6(保育教諭) 令和6年度 中堅教諭等資質向上研修 課題研究レポート

園名 () 個人番号・氏名 (.)

研究主題

1 研究の動機

2 研究の目的

3 研究仮説

4 研究の方法

5 結果

6 考察

7 成果と課題

8 参考文献等

※ A4判縦 資料添付可とする。ただし、教科書等の複製の掲載は不可とする。

※ 研修情報システムから接続できるサイトに掲載するので、記載内容については著作権や個人情報、肖像権等に十分配慮すること。

様式7（保育教諭）

令和6年度 中堅教諭等資質向上研修 園内研修の企画運営（報告書）

園名		氏名		個人 研修番号	
実施日		指導助言者			
研修項目					
この内容を 選んだ理由	ア 幼稚園教育目標に関連する内容だから。 イ 園全体で取り組むべき内容だから。 ウ 自身が興味のある又は伸ばしたい内容だから。 エ その他（ ） ※ 該当のもの以外は削除してください。複数回答可。				
研修内容や 演習方法等 の取得先	ア 中堅教諭等資質向上研修における教育センター研修 イ 県教委主催の研修（研修名： ） ウ 市町村教委主催の研修（研修名： ） エ その他（ ） ※ 該当のもの以外は削除してください。複数回答可。				
企画運営の 実際					
成果と課題					

内容についての記載は、別紙資料を添付することで、「別紙参照」としてもよい。ただし、運営の実際については、箇条書き等で何をどのようにしたのかが分かるように記載すること。

参考様式（保育教諭） ※この様式を参考に各園で作成すること。

〇〇〇第〇〇号
令和 年 月 日

〇〇学校長 様

〇〇市立〇〇〇〇園
園長 〇〇〇〇

研 修 依 頼 書

下記のとおり研修を行いたいのので依頼します。

記

- 1 研修者名
- 2 研修名称 中堅教諭等資質向上研修 異校種体験研修
- 3 目 的 異校種の授業への体験的参加（授業参観、協議、ティーム・ティーチング等）などを通して、系統性や発達の段階を踏まえた保育の在り方や異校種間の連携について理解し、自らの教育実践を振り返るとともに指導力の向上を図る。
- 4 研 修 日 年 月 日（ ）、 月 日（ ）
- 5 研修内容
- 6 連絡先

